

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
1	青森市	①人材育成	こころしあわせプロジェクト	青森アニマルセラピー協会	1,010	アニマルセラピーは、動物とのふれあいにより「思いやる心」「想像力」「協調性」を養い、発達障害といった問題を抱えている人の社会復帰に役立つものであるが、アニマルセラピーを実施できる人材が少ないため、提供する機会が限られている。アニマルセラピーについて、より多くの人に興味や関心を持ってもらうとともに、実施できるボランティア及び指導できるリーダーの育成を図る。 【事業内容】 ①一般ボランティア育成、②勉強会の開催、③リーダー研修
2	青森市	①人材育成	パサージュ広場起業創業支援強化事業	青森市中心市街地活性化協議会	910	青森市における創業・企業を進める取組として、18年間にわたり商業ベンチャー施設である「パサージュ広場」において、新規事業者の支援を行い、一定の成果を上げてきた。この動きを更に拡大するため、起業を検討している人や大学・高校生が短期間や週末だけ開店できるチャレンジショップを実施し、将来の起業家を育成する。 【事業内容】 ①出店者の募集、②消費者へのPR、③備品作成
3	青森市	③商品開発	青森産カシスを原料とする酒の開発による販路拡大と観光資源化事業	企業組合梵珠フルーツわいん	1,273	青森県は日本一のカシス生産県であり、生果のほか、ジュースや菓子などに加工され販売されているものの、販売に苦戦している。一般に、カシスは酒類に使用されるイメージが強いが、県産カシスを使用した酒類の定番商品はない。このため、カシスを使用した酒を開発し、商品化することで、新たな特産品を生み出すとともに、青森カシスをPRする。 【事業内容】 ①カシスとりんごの酒開発、②市場調査、③PR活動
4	青森市	⑤観光開発	八甲田フェスタ	八甲田フェスタ実行委員会	1,050	八甲田は豊かな自然、素晴らしい景観を有するが、ねぶたの時期を除けば、観光客は少ない状況にある。このため、八甲田の高原、歴史、温泉などを自転車で巡るライドと自然の中をウォークするイベントを開催し、八甲田の魅力をもっとPRすることで、観光客の誘致と地域の活性化を図る。 【事業内容】 ①八甲田フェスタ(ライド&ウォークイベント)の開催
5	青森市	⑤観光開発	八甲田山地区温泉郷「九湯会」ブランド化&国内遠隔地・海外新市場開拓事業	八甲田山九湯会	1,870	八甲田には多様な温泉が存在するが、温泉地としての認知度は低く、一体的なPRが必要なことから八甲田地域の9か所の温泉施設が、青森市、十和田市の行政エリアを超え八甲田山九湯会として協同組織を立ち上げた。国内外からの誘客を図るため、八甲田温泉郷とともに八甲田山エリア全般のPRするパノラマ立体映像を駆使して、国内外でPR活動を行う。 【業務内容】 ①国内外観光イベントへの出展
6	青森市	⑥スポーツ・文化交流	人と人がつながる共生社会を目指す事業	特定非営利活動法人日本人財発掘育成協会	673	世界的な活動として広がりを見せている「ヒューマンライブラリー」は、文化の多様性認めようという趣旨で、主に社会的少数者が「本」役となって語り、参加者である「読者」がそれを聞き、語り合うという形式のイベントである。青森という地域に住む社会的少数者の語りを聞き、語り合うことで、双方に相互理解が進み、人をつなげる地域づくりに寄与する。 【事業内容】 ①ヒューマンライブラリーイベントの開催、②「本」役の人財発掘、③事業運営のための先進地研修、④事業活動普及のためのパンフレット作成
7	青森市	⑥スポーツ・文化交流	第2回アオモリ演劇祭	アオモリ演劇祭実行委員会	1,628	青森市における演劇は、県内の他地域に比較すると盛んではあるが、まだまだ演劇を見たことがない、劇団があるの知らない市民が多い。このため、市民参加による演劇や各劇団の公演等を期間・場所を集中して行う「アオモリ演劇祭」を開催し、広く市民に演劇を知ってもらい、参画してもらうとともに、県内外から集客による経済の活性化を図る。 【事業内容】 ①市民参加の演劇教室の開催、②アオモリ演劇祭のPR、③演劇祭オープニングイベント(市民参加型の演劇公演等)、④県外演劇団体による公演、⑤市内各劇団の公演

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
8	青森市	⑥スポーツ・文化交流	地域の歴史調査事業	三内を美しく元気にする会	155	近年、三内地域の住民の繋がりが、コミュニケーションの場が減少しており、地域の歴史や建造物、伝統、言い伝えなど地域の宝が伝承されず、失われていくことが危惧されている。地域の魅力を再認識し、地域への愛着・人々の繋がりを構築するため、「地域の歴史」について調査し、取りまとめた冊子を作成する。 【事業内容】①歴史を学ぶ研修会の開催、②地域の調査、③冊子の作成、④成果発表
9	弘前市	③商品開発	ブルーンのブランド力強化・販売力強化事業	弘前ブルーンの会	1,066	ブルーンは、弘前市が適地で一定量生産されており、加工特性も高いものの、認知度が低く、需要も少ない現状にある。農業者の所得確保・経営安定のためには、ブルーンの需要拡大が不可欠である。H30年度は生果のPRを行ったが、生果を提供できる期間が短いことから、通年で提供できる加工品を開発し、地域の6次産業化を推進することにより、地域所得の向上と「弘前ブルーン」のブランド化に取り組む。 【事業内容】①加工品開発、②商談会等への出展
10	弘前市	③商品開発	弘前シードルのブランド構築に向けた県外客認知度向上事業	弘前シードル研究会	40	国産シードルは弘前が発祥の地で現在6社が醸造しているものの、長野県、北海道の醸造所が多く、観光にも生かされている。また、シードルの認知度は低いものの、世界ではグルテンフリーブームを背景としたビールからのシフトなどにより国内外でブームの兆しがある。日本一のりんご産地であるバリューを生かし、新たな商品開発やPR活動により弘前シードルのブランド力の向上を図る。 【事業内容】①飲食店用樽生シードル開発、②シードルをPRできる人材育成、③県外商談会への参加
11	弘前市	⑤観光開発	弘前さくら栈敷席事業	公益社団法人弘前観光コンベンション協会	2,000	「弘前さくらまつり」の滞在時間を長くし、地域への経済効果を高めるため、観賞栈敷席を設け、弘前の食と芸能を体験できる新たな観光プログラムを開発してきたが、知名度が低いことや、満開期以降のキャンセルが多いことが課題となっている。このため、関東以西へのセールス強化、近年増加している外国人へ対応することにより、まつり期間の消費活動を促進するものである。 【事業内容】①屋根付きのさくら栈敷席の設置
12	弘前市	⑥スポーツ・文化交流	BEGINNING OF SPORTS & COMMUNICATION スポーツおにごっこ大会	特定非営利活動法人ひろさきレクリエーション協会	703	子供の健康増進や仲間づくり・コミュニケーション能力を育むため、「鬼ごっこ」という古来からの親しみのある遊びに一定のルールを明示した「スポーツ鬼ごっこ」の普及活動を展開してきた。近年、全国的に「スポーツ鬼ごっこ」が広がっており、引き続き交流会を開催するとともに、指導員・審判員を育成する。また、スポーツ鬼ごっこを通じた男女の出会いイベント「鬼ごっこ婚」を開催することで、婚活による地域活性化、スポーツ振興による健康増進に寄与する。 【事業内容】①指導員・審判員3級ライセンス講習会、②大会開催、③鬼ごっこ婚開催
13	弘前市	⑥スポーツ・文化交流	文化都市弘前の活性化を担う人材育成ワークショップ	一般社団法人弘前芸術鑑賞会	840	日本の伝統和楽器である太鼓を専門とする国際的な音楽集団「鬼太鼓座」の弘前公演の機会を活かし、地元小学生とのワークショップを実施し、楽器作りや和太鼓、笛の楽器演奏、パフォーマンスを経験させ、音楽による情感を養う。このワークショップを経験した子供たちには、後日開催される鬼太鼓座のミュージックフェスに出演してもらい、ワークショップの成果を市民や父兄に披露する。 【事業内容】①日本の音・ワークショップ
14	弘前市	⑦その他	どてまちカルチャーストリート	弘前下土手町商店街振興組合	1,860	土手町商店街は、弘前市の中心商店街として物の販売やサービスの提供だけでなく、情報や文化を発信してきたが、近年は、郊外型大型店舗の進出等により、客足が減り、かつての賑わいが無くなっている。2020年に土手町の隣接地域に現代美術館がオープンすることを機に、土手町からアート・カルチャーを発信する活動を通じて、かつての賑わいを取り戻し、商店街の活性化に繋げる。 【事業内容】①ナイトウォーク(路上プロジェクションマッピング、音楽ライブ、物販、映画上映)の開催、②演劇フォーラムの開催

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
15	八戸市	①人材育成	地元就職促進に向けた地域企業魅力発信事業	八戸市企業誘致促進協議会	1,270	八戸市の高校・大学生の地元就職率は、全国平均の81%を大きく下回っている。全国的な若年層の人口減少が進む中、県外への流出が益々拡大すると考えられる。就職を考えている学生に八戸市の企業や地域の魅力を知ってもらい、幅広い職業観、地元愛を醸成し、地元就職率を高めるため、「学生が求める企業の情報」と「企業が伝えたい情報」のギャップを埋め、地元で就職することへの魅力をわかりやすく紹介する冊子を作成し、配布する。 【事業内容】 ①促進協関連企業の魅力を発信する冊子の作成、②学生への冊子の配布・Webでの活用
16	八戸市	⑤観光開発	地域資源の保全と活用推進プログラム	種差海岸インフォメーションセンター運営協議会	1,200	種差海岸・階上地域が三陸復興国立公園に指定され6年が経過し、今後も観光地として集客力を高めていくためには、自然や文化など種差海岸の魅力をより深く知ってもらうことが必要となっている。このため、地域と連携しながら体験型の観光プログラムや環境保全プログラムを開発するとともに、これらを一体的にPRするイベントを実施する。 【事業内容】 ①新たな観光プログラムの開発、②環境保全プログラムの実施、③種差フェスの開催
17	八戸市	⑥スポーツ・文化交流	湊えんぶり組再興事業	湊えんぶり組	299	八戸湊地区のえんぶり組は昭和30年代に途絶えていたが、小学校での後継者育成に取り組み、平成28年に卒業生や地域の有志で「湊えんぶり組」を結成した。平成31年度に地区での披露による復活、平成32年度に八戸えんぶりへの参加を目標に、練習を行うとともに、用具を整備する。 【事業内容】 ①用具整備、②えんぶりの練習、③えんぶり披露
19	八戸市	⑥スポーツ・文化交流	日本一のなりきり音楽祭！ in HACHINOHE	ミュージックレビューHACHINOHE実行委員会	900	音楽のメッカ八戸を目指し、平成23年から市民参加型の音楽祭「ミュージックレビュー-HACHINOHE」を開催しており、地元で根付いてきた。この音楽祭は、コピーバンドが多いことが特徴で、誰もが楽しめることから、地元ミュージシャンに加え、全国から出演者を募り、県内外から集客できる「日本一のなりきり音楽祭」として確立し、八戸市の賑わいづくりを創出する。 【事業内容】 ①日本一のなりきり音楽祭の開催、②出演者の公募、③コピーバンドサミットの開催
20	五所川原市	⑤観光開発	インバウンド促進のための観光PR事業	五所川原商工会議所	1,180	H29～30年度の助成事業により、外国人目線で五所川原地域の観光施設の改善、接客対応の向上、観光客が参加できる「体験観光」のイベント構築など、外国人を受け入れる態勢整ってきた。このため、外国人向けの観光PR動画を作成し、積極的に売り込むことで、五所川原地区への外国人の誘客を拡大する。 【事業内容】 ①外国人観光客誘致のためのPV作成、②PVを使った観光PR
21	五所川原市	⑦その他	地域資源の活用による「七和型地域共生社会づくり」推進事業	一般社団法人七和まちづくりネットワーク	580	五所川原市七和地区の人口はここ10年間で約2割減少するとともに、高齢化率も高くなっており、このままの状況では、集落そのものの存続が危惧されている。今後とも安心して暮らせる持続可能な集落コミュニティと経済が回る仕組みを構築するため、県民生協と連携した農産物等の販売と農業体験等を通じた地区内外の交流促進を図る。 【事業内容】 ①農産物等の集荷・販売体制の確立、②農業体験等の実施
22	十和田市	⑤観光開発	第4回十和田湖マラソン大会	十和田湖マラソン大会実行委員会	2,000	十和田湖地域への誘客促進を図るため、これまで十和田湖マラソンを3回開催し、短距離コースを設定したH30年度大会では、参加者が増加した。H31年度は引き続きハーフとクォーターの2種のコース設定で開催し、参加者の需要を見極めるとともに、H30年度では選手移動の利便性向上や安全性の向上を詰め、参加者に気持ちよく走ってもらい、十和田湖の魅力を体感し、十和田地域の食も味わってもらうことにより、リピーター維持を図る。 【事業内容】 ①十和田湖マラソンの運営等

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
23	十和田市	⑤観光開発	十和田市馬事公苑周辺における冬季賑わい創出事業	駒っころんど雪像制作実行委員会	1,649	毎冬に開催している「雪像コンテストin駒っころんど」の開催時間を土曜日は夜間まで延長し、雪像以外の催しや夜間イベントを追加することで来場者の増加を図るとともに、1日中楽しめるイベントとし、観光客が十和田市内で宿泊、買い物をする事で十和田市の経済の活性化に貢献する。 【事業内容】 ①雪像イベントの充実化、②婚活イベントの開催、③シャトルバスの運行 ④広報活動
24	十和田市	⑤観光開発	十和田市伝統芸能の人材育成・観光コンテンツ化事業	一般社団法人十和田奥入瀬観光機構	1,000	地元の伝統芸能(神楽・獅子舞など)や十和田囃子の継承を推進しながら、これらを十和田市の新たな観光コンテンツに位置付けていくため、平成29年度から市内や近隣市町村の祭、市内宿泊施設などにおいて、演奏演舞の機会を設けている。引き続き伝統芸能等の継承と観光コンテンツの開発に努めるほか、高齢化が進む演者の後継者育成にも取り組んでいく。 【事業内容】 ①「伝統芸能を鑑賞するタベ」の開催、②後継者育成体験学習の実施、③県内イベントの出演、④モニターツアー
26	十和田市	⑥スポーツ・文化交流	2019年度「幻の穴堰」公開3周年メモリアル事業	特定非営利活動法人十和田歴史文化研究会	2,000	広大な三本木原開拓に尽力し、十和田市の礎として活躍した新渡戸十次郎と、開拓に大きな意味を持つ「幻の穴堰」については、それらがもつ歴史文化的価値に対する認識がいまだに不十分である。事業では、その歴史ロマンを考証し活用することで子供たちのふるさと教育に資するとともに各関連団体との交流を図り、歴史的文化と観光を組み合わせ、地域の活性化に資するものである。 【事業内容】 ①講演会開催、②旅行造成、③俳句全国大会開催、④社会科教育用教材(DVD)の制作、⑤パンフレット作成、⑥機関誌出版及び記念講演の実施
27	三沢市	⑤観光開発	冬季まちなか賑わいスポット創出と面的展開による地域経済循環観光消費促進事業	三沢市商工会	2,000	冬季(クリスマス時期)のイルミネーションはアメリカ文化であり、米軍基地を有する三沢市には馴染み深く、近年はインスタ映えスポットとして市外からも訪れる人も多くなってきている。H28年度から実施している中心街の「なかよし公園」等でのイルミネーションの規模を拡充した「ミサワ・パンタシア」を開催し、県内外からの観光客の増大を図るとともに、市内飲食店での消費拡大を促すことにより、経済効果の拡大を図る。 【事業内容】 ①イルミネーションと野外仮設バーの設置、②スタンプラリー等の実施
28	むつ市	①人材育成	「下北ジオパーク」体験学習支援事業	認定特定非営利活動法人斗南どんどこ健康村	400	子供たちが地域の歴史や文化、風土などについて学ぶ機会を提供するため、下北ジオパーク特有の自然や歴史文化、食育を積極的に支援し、子供たちによる郷土の理解を深めることとともに、郷土愛を育む人材育成に資する。 【事業内容】 ①こどもの体験学習(ジオ体験学習、自然体験、歴史文化、食育体験、農林漁業体験)
29	むつ市	⑤観光開発	大湊の歴史に触れる観光メニュー開発事業	協同組合むつ専門店会	741	平成30年度事業として大湊に10数か所点在し湧水を活用した観光メニュー開発を実施したところ、新聞報道や観光協会のプロモーションもあり、想像以上の高評価を得た。しかし、想定を超える参加者への巡礼手形の不足や、地元飲食店への波及効果が薄かったことから、課題解決を図り、観光客の受入態勢を強化する。 【事業内容】 ①歴史を語るガイド養成講習、②巡礼手形低コスト品開発、③巡礼連動イベント
30	むつ市	⑤観光開発	金曜はカレーの日!!!~海自カレーパンフレットで華麗にPR~	大湊海自カレー協同組合	542	むつ市では年々観光客数が減少しており、地域活性化の起爆剤として海上自衛隊大湊基地とのコラボメニューとして、大湊海自カレーの提供を開始した。各提供店舗は、各部隊の調理員より直接技術指導を受けることで味を完全再現しており、認定審査を経てお客様に提供される。このほか、むつ市には大湊海軍コロッケや大湊Sora空っ!が存在しており、海自カレーを始めとしたむつ市の自衛隊グルメをPRし、むつ市の観光客増に向けて取り組みを進める。 【事業内容】 ①PRパンフレット作成、②パンフレット配布、③PR活動

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
31	むつ市	⑥スポーツ・文化交流	AIR In MutsuKawauchi(滞在型地域連携アートプロジェクトむつ川内)	むつ市	1,738	むつ下北地域は、自然や食、歴史などの地域資源に恵まれており、更に暮らしやすい地域づくりのため、生活基盤の整備を進めてきたが、美術館など芸術に触れる場所がない。子どもを始めとした地域住民が芸術に触れる機会を作るとともに、新たな観光資源を創造するため、学生による絵画作品の製作、展示を行う。 【事業内容】 ①学生の招聘、②絵画制作、③作品展示、④地域ふれあい活動
32	つがる市	①人材育成	つがるおもちゃ病院設立で元気なシニアとエコなジュニア育成事業	青森県おもちゃ病院ネットワーク	171	原則無料でおもちゃを修理するおもちゃ病院は、全国的に展開されており、本県においても平成20年に弘前で開院して以降、現在7市に展開されている。おもちゃが治ったときの子供の喜び、ドクターとして修理するシニアの生きがいづくり、それによる世代間交流によって地域の活性化に繋げていくため、現在、おもちゃ病院のないつがる市におもちゃ病院を開院する。 【事業内容】 ①ボランティアドクターの育成、②おもちゃ病院の設置
33	平川市	⑥スポーツ・文化交流	チャンバラ合戦in平川市蓮の花まつり	一般社団法人平川市観光協会	1,097	平川市の新たな観光資源を開発するため、関東中心に広がってきている「チャンバラ合戦」を定着した恒例のイベントとして開催し、県内広くPRする。また、会場である猿賀公園の蓮の花が咲かなくなったことで一時休止していた「蓮の花まつり」の復活を知ってもらい、平川市への集客力を強化する。 【事業内容】 ①チャンバラ合戦 in 平川市蓮の花まつりの開催
34	平内町	⑦その他	ひらないミライ商店街賑わい創出事業	小湊商店会	1,000	小湊地区の商店街は平内町の中心商店街であるが、人口減少や高齢化に伴い客足が少なくなっているほか、客層も高齢者が中心で新規の顧客が少ない状況にある。このため、遠ざかっていた地域の人々の再訪に繋げるため、イベント「ミライ商店街」を開催する。 【事業内容】 ①ダンス・音楽ステージイベント、②子供忍者修行企画、③ゲーム・縁日の開催
35	鱒ヶ沢町	⑤観光開発	日本遺産「北前船」の港町魅力拡大事業	鱒ヶ沢町教育委員会	1,000	平成29年に鱒ヶ沢町が日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に指定された。平成30年に鱒ヶ沢港町における北前船ゆかりの街並み、建築物など隠れた遺産の調査により、隠れた観光資源を発見できた。これらの資源、歴史空間を活用した観光開発、情報発信の拠点整備により、地域活性化を図る。 【事業内容】 ①港町に残る歴史的町並み、建築物のリーフレット作成、②展示模型・パネル作成
36	深浦町	③商品開発	「ふかうら雪人参」のブランドの構築に向けた商品開発と販路開拓事業	一般財団法人深浦町食産業振興公社	1,137	町の特産品である「ふかうら雪人参」を活用し、地域の6次産業化により、様々な加工品づくりを進めてきたが、旬が冬であり観光シーズンの夏には、町内の飲食店等で観光客に提供することができない状況にある。このため、通年で提供できる雪人参を使った「カレー」を開発することにより、地元からのPRを強化するとともに、お土産カレーも開発し消費拡大を図り、雪人参の産地の維持・拡大に寄与する。 【事業内容】 ①雪人参を使った商品開発、②商品PR活動
38	大鰐町	⑤観光開発	MTB観光商品開発事業INあじやら	「OWANI」観光商品開発協議会	2,000	大鰐町はスキーによる冬季観光には強いものの、夏場の観光に弱い状況にある。また、第2スキー場が閉鎖され、有効活用されていない状況にある。一方、かつてあじやらでは、マウンテンバイク(MTB)の全国大会が開催されていたが、現在は、行われておらず、コースも廃れている。MTBを大鰐観光の1メニューとして確立し、交流人口の拡大を図る。 【事業内容】 ①先進地視察、②MTB初心者コースの整備、③商品化に向けた研修会・機材整備とモニターツアーの実施

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
39	大鰐町	⑦その他	「まるごと大鰐 秋の感謝祭」	まるごと大鰐実行委員会	1,377	大鰐町では、「大鰐温泉もやし」と「りんご」のPRイベントを毎年11月に別々に開催しているが、来場者が分散し、各イベントの集客数が少なく、その効果が薄れている。他にもある大鰐町の産品を一堂にPRする「オール大鰐フェスタ(仮)」としてリニューアル開催するとともに、大鰐の特産品を一口で味わえる新たな名物、ワニ型のお焼き「大鰐焼き」の具を公募し、フェスタで決定する。 【事業内容】①オール大鰐フェスタの開催(地元グルメ提供、農産物販売、木工ワークショップ、木炭・墓石などの展示)、②大鰐焼きレシピコンテスト
40	七戸町	⑦その他	南部縦貫鉄道を七戸町の方々にもっと知ってもらうための活動	一般社団法人南部縦貫レールバス愛好会	1,420	南部縦貫鉄道はH14年に廃止されたが、当時のレールバスを中心とした車両群は動態保存されており、国内唯一の貴重な財産である。これらの車両を見るために毎年、全国から大勢のファンが訪れるが、近年、その劣化が激しく、体験イベントの安全性確保が困難となってきた。このため、線路の安全対策を行うとともに、町の観光資源としての保存に向けた町民の機運を醸成する。 【事業内容】①鉄道イベント(軌道自転車体験)、②旧七戸駅構内へのつつじ植樹
41	七戸町	⑦その他	しちのへろゲイニングプロジェクト	アーカイブしちのへ	89	七戸町は文化・歴史・民族そして自然豊かな町であったが、人口減少・少子高齢化が進み、古き良き町の風景が消え、記憶が忘れ去られようとしている。地域の歴史や魅力を再発見し、次代の七戸を担う人材に地域への愛着を持ってもらうとともに、町外に七戸の魅力を発信していくため、七戸に残る古い写真を活用した歴史講座やイベント、写真展を開催する。 【事業内容】①写真を通じた歴史講座、②ロゲイニング(設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う)大会の開催、③写真展の開催
43	東通村	⑥スポーツ・文化交流	空き家対策「ホリデーハウスプロジェクト」	一般社団法人tsumugu	1,600	少子高齢化が特に顕著である東通村の空き家をリノベーションして利活用し、県内外の大学生の下北地域内での活動拠点とすることで、下北地域での関係人口を増やすことを目的としている。下北地域へ興味を示す首都圏大学生や県内津軽地方の学生は多く、彼らのインターン活動の拠点や、インターネット環境があれば仕事ができる者(Webデザイナー等)のワーキングスペースといった若者の交流拠点づくりを整備する。 【事業内容】①空き家拠点づくり、②空き家賃貸料、③地域住民との滞在交流イベント
44	風間浦村	③商品開発	風間浦村産海藻等を活用したコミュニティビジネス確立事業	べこもち工房	696	高齢化と過疎が進む風間浦村の中でも、とりわけ中心集落である易国間から距離がある下風呂地区では、その様相が顕著である。この事業では、下風呂地区という地域コミュニティの中で、持続可能な共生のあり方として、単身高齢者向けの簡単に食べられて安価で保存がきき、下風呂地区の特産品を使った商品の開発を行い、福祉分野と農林水産分野に跨った包括的なモデルケースを立ち上げることを目的としている。 【事業内容】①風間浦村産海藻等を活用した加工品開発、②惣菜の試験販売
45	佐井村	⑦その他	矢越八幡宮本祭典保存伝承事業	矢越若者会	732	青森県無形民俗文化財に指定されている「佐井の山車行事」は、矢越地区では毎年お盆の時期の3日間に個別にまわる山車の運行や神楽、獅子舞などを奉納するものの、いちばん重要な本祭典は平成19年度以降実施されていない。地区に住む子供や若者に郷土芸能を継承し、後世に残すことを目的とする。 【事業内容】①祭り囃子伝承教室、②本祭典の記録保存
46	田子町	⑤観光開発	田子町観光コンテンツパワーアップ事業	田子町観光協会	810	田子町には観光スポットはあるものの、滞在する時間が短いため経済効果が小さい。このため、町内の観光スポットとそれを巡るコース情報を音声で自動解説するシステムを活用して、自転車で町内観光スポットを巡るサイクリングコースを設定し、新たな観光メニューとして確立する。 【事業内容】①コースづくりの検討、②コースの試走

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
47	東青	⑤観光開発	インバウンド対策と県民のPR向け観光農園事業	あおもり果樹の楽園	982	観光果樹園は、果物を収穫して販売するだけでなく、食育や農業体験の場として活用されているほか、近年、体験型観光として外国人の関心も高まっており、青森りんごを海外にPRできる貴重な場でもある。しかしながら、観光果樹園の存在がまだ県民に知られていないほか、外国人と言葉の障壁があることから、観光果樹園の情報を発信するとともに、外国人の受け入れ態勢を構築する。 【事業内容】①ホームページの作成、②googleストリートビュー作成、③青森市内へのチラシ配布
48	中南	④市場・販路開拓	国重文「津軽塗」PRプロジェクト2	青森県漆器協同組合連合会	2,000	津軽塗については、国内を始め、海外へ津軽塗の販売拡大や新製品開発を行ってきたが、生産はピーク時の10分の1と減少し、後継者も減っており、厳しい現状にある。一方で、H29年に国の重要無形文化財に指定さ、これを契機に、県内はもとより、首都圏における認知度をアップするため、その製造工程や魅力をPRする。 【事業内容】①英語・中国語パンフレット作成、②首都圏・県南でのPR活動、③SNSでのPR
49	中南	⑦その他	つがる弘前軽トラ市	つがる弘前農業協同組合	923	消費者の買い物のスタイルは、小売店から量販店、大型ショッピングモール、通信販売などへ変化しており、人と人のコミュニケーションが希薄化している。地元で生産された製品の素晴らしさや消費者のニーズなどの情報交換をしながら買い物できる「軽トラック市」を開催し、農業者の所得向上、地産地消を推進する。 【事業内容】①出店者の募集と開催PR、②軽トラック市の開催、③定着化に向けたアンケート調査
50	西北	②技術開発	日本海沿岸魚礁水中ドローン調査実証事業	西海岸二町水産振興協議会	600	鱒ヶ沢町、深浦町における水産業は町を支える重要産業であり、水産資源の増大等を目的に魚礁を設置してきた。しかしながら、近年、漁獲量は減少傾向にあり、その一因として経年劣化に伴う魚礁の機能低下が考えられている。これまでも、潜水士遠隔無人水中探査機による調査に取り組んだが、経費が高く十分な調査ができなかったことから、低コストで安全・簡単な魚礁調査の方法を確立する。 【事業内容】①水中ドローンを活用した調査実証
51	三八	⑦その他	青森県産畜産物の消費拡大と畜産業への就労拡大に向けた啓蒙活動	一般社団法人青森県畜産・飼料コンビナート振興協会	1,500	本県畜産業は、分野別農業産出額のトップであり、牛、豚、鶏(卵・肉)ともに国内で有数の産地であるが、消費者には知られていない。また、畜産業に対するイメージが悪く、担い手不足が課題となっている。このため、将来の担い手となる小・中・高校生に職業選択の一つとして畜産業を意識してもらうとともに、県産畜産物の消費拡大を推進する活動を展開し、本県畜産業の発展に資する。 【事業内容】①畜産企業見学会の開催、②グルメパーティーの開催、③畜産フェアでの料理教室開催、④畜産に関する情報誌の発行
52	上北	④市場・販路開拓	小川原湖が育む特産食材の販路開拓・プロモーション事業	小川原湖漁業協同組合	1,622	小川原湖の漁業経営の安定化に向け、シラウオ、シジミ、ワカサギなど、これまでの販売促進活動の実績を踏まえ、平成29年度から「直販」の事業化に向けた実証実験を進めてきた。平成32年度における「組合直販」の実現を目指して、引き続き、国内外の料理人・バイヤー・一般消費者に対し、積極的に小川原湖の食の魅力を知ってもらう機会を作り、小川原湖をPRしていくことで認知度向上と魚介類の消費拡大を図る。 【事業内容】①メディア向け試食PR事業、②食材・レシピシェアリング事業、③海外販路拡大事業
53	上北	⑥スポーツ・文化交流	市民をつなぐ！ヒップホップダンス交流事業	とわだ市民活動ネットワーク	310	上十三定住自立圏構想の趣旨に賛同し、上十三定住自立圏域10市町村の子ども達を対象に、人気となっているヒップホップダンスの練習成果を発表する機会を提供するほか、ダンスを愛し学ぶ子ども達とその保護者達の交流の輪を広げるとともに、ダンスを通じてシニア世代と子ども達との交流を促進する。 【事業内容】①こどもヒップホップぱらだいすvol.5、②初心者(子ども)向けヒップホップダンスワークショップの開催、③シニア向けヒップホップダンスワークショップの開催、④市民をつなぐヒップホップダンス交流事業

## 令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
54	下北	⑤観光開発	DVDで誘客拡大「神秘の下北半島/祭り・イベント・郷土芸能編」	公益社団法人むつ市観光協会	2,000	地方の文化、祭り、郷土芸能は有効な観光資源である反面、担い手の減少が顕著であることから、下北半島の観光プロモーションビデオを作成し、動画で郷土芸能、まつり、イベント等をPRし誘客を図るとともに、伝承、継承にも寄与するものである。 【事業内容】 ①動画・写真撮影、②編集、③ナレーション、④字幕作成
55	津軽	①人材育成	外国人技能実習生への日本語教育、日本語指導者養成、及び教材開発	一般社団法人国際にほんご教育センター	339	近年、我が国の労働力不足を背景に、外国人技能実習制度を利用した外国人の受入が拡大しており、特に、本県では介護や工業、農業など様々な分野で急増している。送り出し・受入機関では日本語の研修を実施しているものの、マスターするまでには至っておらず、受入企業での作業や日常生活に支障をきたしていることから、外国人を対象とした日本語教室の態勢強化を図る。 【事業内容】 ①在日外国人への日本語教育指導者の育成、②日本語教育教材開発
56	津軽	⑥スポーツ・文化交流	平川トライアスロン大会	平川鉄人会	900	トライアスロンは国民体育大会の正式競技となり、2025年に青森県で行われる大会においても実施されることとなっている。本県から代表選手が生まれるよう、これまで開催してきたアクアスロン大会を青少年を対象としたトライアスロン大会に変更して開催し、選手の育成、競技の普及を図るとともに、スポーツを通じた青少年の健全な育成に寄与する。 【事業内容】 ①平川トライアスロン大会の開催
57	県南	④市場・販路開拓	青森県産耐冷性酒米「吟烏帽子」のブランド化研究事業	地方独立行政法人青森県産業技術センター	562	県南地域でも作付け可能な酒造好適米が初めて育成され、H29年度に「吟烏帽子」として品種登録申請し、出願公表された。この酒米を県南地域、将来的には全県的に「愛される酒米」としてブランド化していくため、写真・実物展示や関係者による対談、試飲などを行い、関係者、一般消費者に吟烏帽子の理解を深める。 【事業内容】 ①吟烏帽子のPRイベントの開催
58	県南	⑤観光開発	あおり・旬の食旅ツアー事業	特定非営利活動法人あおり観光・誘客推進協会	2,000	観光客の旅の3大目的(動機)で最も多いのが「食べる」である。本県は、豊富でバラエティーに富む農林水産品を有する「食」の宝庫。「その土地ならではの食材、調理法、食事場所など」を食することを目的とする食旅の宝庫でもあり、食旅ツアーによる観光誘客の伸びしろが大きいことから、県南地域を中心とした『あおり・旬の食旅ツアー』をモデル的に実施する。 【事業内容】 ①現地調査の実施、②食旅ツアーの開発、③参加募集のPR、④アンケート調査の実施
59	全県	①人材育成	次世代青森りんごオピニオンリーダー育成のための大学等連携事業	一般社団法人青森県りんご対策協議会	2,000	りんごの購買層は中高年が中心であり、人口減少による需要減少を見据えると、子どもたちにりんごを食べる習慣を定着させる取組が急務である。このため、引き続き、将来、栄養教諭・管理栄養士となる大学生に、青森りんごの美味しさや機能性を正しく伝え、オピニオンリーダーとして育成するとともに、大学生による幼稚園・小学校等での食育活動を支援し、青森りんごの魅力を一般消費者に発信していく。 【事業内容】 ①青森りんご学習冊子の作成、②栄養系大学での青森りんご活用、③大学生による食育活動の実施
60	全県	①人材育成	未来のあおり知財人財指導者育成事業	一般社団法人青森県発明協会	520	産業のグローバル化が進む中で、国際競争に負けない、企業側のニーズに即したビジネスアイデアを発案できる人材の育成が必要とされている。これまで、県内の大学生、小中高生を対象に各種の知的財産に関する出張講座を開催し、年々、そのニーズが高まってきているが、全ての要望に応えられない状況にある。このため、県内各地域の指導者の実践的な知的財産や創造性育成に関する指導能力の向上を図る。 【事業内容】 ①知財人財育成者スキルアップ講座、②子どもを対象とした授業の実践

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
61	全県	①人材育成	多様な人たちが担うことで高まる地域防災力プロジェクト	一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと	544	災害発生時の初動では、共助、互助といった横の関係性を重視した地域防災が必要である。被災者支援では多様性に配慮した視点が必要であり、乳幼児や妊産婦、障害者、外国人の支援などについて講演会を開催し、地域防災意識の向上、地域防災における横のつながりのネットワークを構築する。また、災害発生時に避難所運営の手助けしてくれる専門的な知識や技能をもつ団体のリスト集を作成する。 【事業内容】 ①防災&地域コミュニティカフェの開催、②「みらいねっとTASUKEAIリスト集」の作成、③情報発信、④先進地視察研修
62	全県	②技術開発	りんご高密度植わい化栽培導入推進事業	全国農業協同組合連合会青森県本部	1,752	りんご生産者の高齢化と担い手不足により栽培面積が減少している中で、将来にわたる適切なりんご生産量の水準を維持していくため、長野や海外で普及しているりんご高密度植わい化栽培について本県での適応性を確認してきた。苗木生産では課題があるものの、一定の成果が得られたことから、現場への早期普及に取り組み、りんご産業の発展を目指す。 【事業内容】 ①苗木生産技術の習得、②普及モデル展示ほの設置、③先進地調査
63	全県	③商品開発	首都圏ニーズをとらえた少量多品種県産商品群「AOQQ」ブランドの構築	AOQQの会	2,000	本県の加工食品は、食味が良く、りんごやにんにくなど青森をイメージできる特産が多いことから、首都圏のバイヤーから高評価を得ているが、首都圏でニーズが高い「少なめの量目」への対応不足やパッケージのデザインについて指摘されることが多い。このため、統一した少量の規格・容器を定め、AOQQ(アオック)ブランドとして数多くの商品を開発し、首都圏へ販路を開拓する。 【事業内容】 ①商品の開発(デザイン、ロゴ作成等)、②販路開拓(Webサイト作成、商談会への出席)
64	全県	③商品開発	青森の伝統工芸推進・発展に向けた商品開発とブランディング事業	青森伝統工芸推進研究会	1,333	本県の伝統工芸産業は需要の低迷や後継者不足などの課題を抱え、年々、衰退してきている。このため、現代のライフスタイルや若者・外国人の価値観にあった商品を開発し、ブランド化していくことにより、工芸品関連産業を拡大するとともに、既存工芸品の需要拡大に繋げ、伝統工芸産業の発展を図る。 【事業内容】 ①伝統工芸品を活用した製品開発、②商品のPR活動、③ブランド化及びサイト開設
65	全県	③商品開発	「華さやか」トータルプロデュース推進事業	華さやかブランド推進協議会	579	青森県で開発した酒造好適米「華さやか」の知名度を浸透させ、ゆるぎない地位を確立するため、醸造だけではなく、製パンに優れている特性を活かしたグルテンフリーパンを開発する。また、酒・パン・米料理とのコラボレーションによるトータルプロデュースを展開し、「華さやか」の新たな需要の開拓と相乗効果による多様な消費者にマッチしたブランドを目指す。 【事業内容】 ①「華さやか」の米粉を利用したグルテンフリーパンの開発、②「華さやか米」トータルプロデュースイベントの開催
66	全県	③商品開発	海藻を活用した商品の首都圏販路開拓と「藻活」全国PR・啓蒙活動実施事業	あおもり海藻コンシェルジュ協会	1,700	青森県は海藻資源が豊富であるが、その認知度や料理方法等が普及していない。また、利用されていない資源も多い。青森県産の海藻の消費拡大を図るため、海藻に関する食育活動「藻活」による料理方法や栄養価等に関する知識の普及を図る。また、資源の有効活用を図るため、低利用海藻を活用した加工商品を開発する。 【事業内容】 ①海藻商品開発、②販路開拓、③海藻に関する食育活動「藻活」の実施
67	全県	④市場・販路開拓	青森県水産物販売流通改革事業	JF青森漁連流通PRセンター運営協議会	2,000	本県は4つの海に恵まれた国内屈指の水産物供給県であり、漁業は本県を支える主要産業となっているが、近年、漁獲量の減少や魚価の低迷を背景に後継者が少なく、高齢化が著しい。県漁連がH31年に「JF青森漁連流通PRセンター」を稼働させることを機に、中間流通を省いた新たな流通体制を構築し、新たな販路を開拓するとともに、付加価値を高めた水産物を県内外にPRする。 【事業内容】 ①展示商談会・フェアへの参加、②PRセンターでのPRイベントの実施、③新たなプレミアム製品開発

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
68	全県	⑤観光開発	全日本レディースソフトテニス個人戦大会における選手への支援事業	青森県レディースソフトテニス連盟	712	本県のソフトテニスの健全な発展を図るとともに、婦人の健康増進を図るために活動している青森県レディースソフトテニス連盟が平成31年に40周年を迎えることから、これを記念して全国大会を開催することとした。全国から大勢の選手が参加するこの機会に本県の魅力をPRし、県産品の購買意欲と来青する機運を盛り上げる。 【事業内容】①第46回レディースソフトテニス大会開会式におけるアトラクション(ねぶた囃子、三味線)実施、②参加記念品として青森県産品プレゼント
69	全県	⑤観光開発	青森eスポーツプロジェクト	特定非営利活動法人あもりIT活用サポートセンター	586	eスポーツは2018アジア競技大会のエキシビションとして行われ日本が優勝、2022アジア競技大会から正式種目となる。このため、今後、発展することが見込まれているものの、国内での競技大会は少ない。本県ではH30年9月に大会を開催し、機運が高まっている。このeスポーツ黎明期に他県に先駆けてイベントを開催することにより、本県における競技人口の増加とコミュニティーの形成、全国からの参加者を拡大する。 【事業内容】①eスポーツセミナーの開催、②eスポーツ大会(格闘系・マルチ対戦系)の開催
70	全県	⑤観光開発	青森港クルーズ客船観光案内強化事業	青森港国際化推進協議会	1,766	近年のクルーズ船による旅客数は、国内は元より、青森港(国内及び国外)においても順調に伸びており、今後もその傾向が期待できる。本協議会では、「青森港クルーズ客船寄港促進アクションプラン」を策定し、青森港に寄港するクルーズ船が年間100隻、旅客数が年間10万人を目指しており、青森港を核とした観光振興に取り組み、県内への経済波及効果を促進する。 【事業内容】①Aomori Port Mapの作成、②クルーズセミナー
71	全県	⑤観光開発	津軽海峡への外国人誘客体当たり事業	津軽海峡マグロ女子会青森県支部	784	これまで、「マグ女のセイカン博覧会」と銘打って、女性の感性を生かした青森県ならではのニッチ(すき間)な「青森体験」おもてなしメニューを県内外の観光客向けに展開してきた。この中からいくつかを外国人観光客向けに再構築して提供することにより、青森県観光の情報発信力を高め、長期滞在やリピーター獲得につなげるとともに、県内の都市部以外のエリアのインバウンド受け入れのモデルケースとしたい。 【事業内容】①外国人向け商品開発、②外国人の受け入れ体制づくり
72	全県	⑤観光開発	Aomori Yasukata Bay Festival supported by a-nationフードコート整備運営事業	Aomori Yasukata Bay Festival supported By a-nation 実行委員会	2,000	日本最大規模のa-nationが、平成31年度に青森市で開催される予定である。来場者は県内のみならず県外、海外から15,000から20,000人となる見込みである。この機会を活用してa-nationの客層である若い世代に本県の魅力を発信するため、30周年を迎える安方港まつりと併催するとともに、両会場を繋ぐ場所にフードコートやPRビジョンを設置し、本県の食・文化・観光地をPRする。 【事業内容】①フードコートの設置、②安方港まつりとa-nation、フードコートを繋ぐアーチ設置、③情報発信ブースの設置
73	全県	⑤観光開発	テーマ別観光資源魅力向上事業	公益社団法人青森県観光連盟	2,000	県内市町村や各団体では、観光誘客の拡大を図るため、まつり・イベントの開催、国内外の観光客に満足いただく観光地づくり、体験型観光の開発などに取り組み、イベント・観光コンテンツが数多く存在するが、それぞれの団体がPRしているため、情報発信力及び訴求力が充分とはいえない状況にある。このため、「点」の観光地・観光資源について、観光客のニーズに合わせたテーマごとに整理し情報発信するとともに、「線」で繋いだコースを旅行商品として造成できるか検証する。 【事業内容】①「りんご」「クリスマス」をテーマとしたモニターツアーの実施、②テーマ別の情報発信
74	全県	⑤観光開発	青森・台北定期便就航記念訪台機運醸成事業	青森空港国際化促進協議会	1,539	台湾は青森りんごの最大の輸出先であるとともに、本県への外国人観光客が最も多い国である。また、近年は友好協定や教育旅行の増加など、経済的、文化的交流が進み、本県にとって大切なパートナーとなっている。H31年夏からエバー航空が青森・台北の定期便就航する計画があることから、本路線を有効活用し、更なる経済・文化等の交流の活発化に寄与する。 【事業内容】①台湾の情報発信、②台湾定期便の就航PR、③友情の翼の実施

令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
75	全県	⑤観光開発	平成31年度津軽半島・下北半島周遊バス実証運行事業	むつ湾内航路活性化推進会議	797	蟹田・脇ノ沢のフェリー航路は、観光客の交通手段として重要であり、地域経済活性化に不可欠であるが、利用客が減少している。航路の利用者を増加させ、下北地域における観光消費の拡大を図るため、バスとの組み合わせによる陸奥湾周遊ツアーの継続実施に向けた実証実験を行う。 【事業内容】 ①津軽半島・下北半島周遊バス実証運行の実施
76	全県	⑥スポーツ・文化交流	青森県日仏柔道交流二十周年記念スポーツ文化交流事業	青森地区柔道連盟	750	原子燃料サイクル施設立地を契機として始まったフランスとの柔道交流が平成31年で20年目の節目となる。これを記念し、これまで三沢・八戸地域を対象に行われてきた交流を本県全域を対象として実施することにより、東京オリンピック、更にはパリオリンピック、青森国体への志気を高めるとともに、フランスへ本県の食・文化等の魅力をPRする。 【事業内容】 ①柔道交流、②本県の文化PR
77	全県	⑥スポーツ・文化交流	バウンドテニス普及推進事業	青森県バウンドテニス協会	869	バウンドテニスはレクリエーションスポーツながらも本格的な競技性を有しており、2023年佐賀国体から正式種目に準ずる公開競技となることが決まっている。2025年の青森国体においては、公開競技のみならずデモンストラーションスポーツとしても実施することを目指しているものの、青森県のバウンドテニス競技人口の高齢化が進んでいることから、未普及地域での競技人口拡大、国体選手の掘り起こし、ひいては短命県返上にも資することから、市部及び大学生を対象とした競技普及活動を実施する。 【事業内容】 ①バウンドテニス普及講習会の開催(2市及び1大学×5回)
80	全県	⑦その他	青森県産黒にんにくの海外及び大手販路拡大のためのHACCP対応事業	特定非営利活動法人黒にんにく国際会議	1,500	「青森の黒にんにく」は25か国へ輸出されているほか、本県が国際規格基準の認定も行っており、世界をリードしている。一方、これまで輸出ではHACCPが求められていたが、HACCPの義務化を受け、国内取引においても取引条件となることが多くなっている。今後とも本県が世界の黒にんにくをリードしていくため、本県の製造者が黒にんにくに特化したHACCP認証を目指す。 【事業内容】 ①HACCP制度の情報発信、②HACCP普及講習会、③HACCP認証書授与
81	全県	⑦その他	不登校生徒を支える通信教育システム構築事業	特定非営利活動法人コミュニサーあおもり	1,156	不登校児童・生徒の数は依然として多く、また、行政の縦割りで横断的な対策がとれない状況にある。このため、不登校問題の解決に向けて、不登校予備群も含めた児童生徒及びその親を対象としたセミナーの開催、学校に行けない児童生徒の居場所、悩みを抱える親が相談できる場として「ひだまりカフェ」を引き続き継続する。また、通学に必要なトレーニングを行うフリースクールを併設している。 【事業内容】 ①通信型フリースクール事業 ②不登校、ひきこもり、保護者のためのセミナー＆相談会の開催
82	全県	⑦その他	「黒石キャンドルナイト」10周年記念事業	縁コネクトオフィス	1,201	100万人のキャンドルナイトは、電気を消して、キャンドルを灯して過ごそうというスローライフ運動の1つで、日本ではH14年度から開始された。黒石市ではH22年度から継続して取り組んでおり、人が集まるイベントとして成長してきた。H31年度に10周年を迎えることを機に、新たなイベント等を併催し、集客力を高め、地域の活性化に寄与する。 【事業内容】 ①キャンドルナイトの実施
83	全県	⑦その他	音楽療法セミナー'19「音でつながる・音がつなげる」	特定非営利活動法人青森音楽療法研究会	733	音楽療法は、認知症予防に効果的であることが学術的にエビデンス認定されるなど一定の効果があるほか、不安やうつ病、自殺の予防にも有効である。しかしながら、全国で3,000人以上いる音楽療法士のうち青森県には13人しかいないことから、他県と比べて青森県は音楽療法が有効的に活用されていない。このことから、音楽療法の有効性を周知するため、セミナー及びワークショップを開催する。 【事業内容】 セミナー開催、ワークショップ開催

### 令和元年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
84	弘前市	④市場・販路開拓	ポップカルチャーコンテンツ「桜ミク」活用事業	弘前フィルムコミッション実行委員会	1,399	弘前さくらまつり公式応援キャラクター「桜ミク」のポップカルチャーコンテンツとしての若年層への訴求力、誘客力に効果的であることを活用し、今夏の弘前ねぶたまつりや夏休みでの弘前市内イベント展開など通年で誘客できるよう、県内及び首都圏でPRする。
85	青森市	④市場・販路開拓	青森市民の健康寿命延伸を目的とした「ヘルステックを核とした健康まちづくり」事業	青森市立浪岡病院	1,866	浪岡地区の主な健康課題は、特定健康診査受診率が27.0%と青森市の40.3%(平成27年度青森市データ)を大きく下回っていること、さらには、健診データを分析した結果、市の平均値と比べ、メタボ該当・予備軍率が高い、1日当たりの運動量が少ない、飲酒量も多いことなどが判明している。健康寿命の延伸に当たっては、長期的な対応が必要となるが、まずは、早急に健診受診率の向上に努めることで、より多くの住民に自身の健康状態を把握していただき、その上で「フレイル」や「生活習慣病」予防につなげる必要があると判断し、令和2年度の本稼動のスマールスタート(ヘルステック×予防&24時間見守りサービスの概念実証)として本年度に緊急的に事業を行う。